

令和元年度災害における TEC-FORCEの活動について

令和2年6月30日

水管理・国土保全局 防災課

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の概要

TEC-FORCEとは

※TEC-FORCE(TEchnical Emergency Control FORCE):緊急災害対策派遣隊

- 大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設し、本省災害対策本部長等の指揮命令のもと、全国の地方整備局等の職員が活動。
- TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際し、被災自治体が行う被災状況の把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施。
- 南海トラフ巨大地震や首都直下地震をはじめ、大規模自然災害の発生が懸念されている中、令和2年4月には隊員数を約1万4千人に増強(創設当初約2,500人)。ドローン等のICT技術の活用や、ポンプ車等の資機材の増強など、体制・機能を拡充・強化。

活動内容

災害対策用ヘリコプターによる被災状況調査

災害対策用ヘリコプター
「ほくりく号」



「ほくりく号」による千曲川上空の浸水調査

【令和元年東日本台風】
(長野県長野市上空)

市町村へのリエゾン派遣



【H27.5 口永良部島の火山活動】
(鹿児島県屋久島町)

被災状況の把握



【H29.7 九州北部豪雨】
(福岡県東峰村)

Ku-SAT※による監視体制確保



【H26.9 御嶽山の噴火】(長野県王滝村)
※Ku-SAT:衛星小型画像伝送装置

自治体への技術的助言



【令和元年8月の前線に伴う大雨】
(佐賀県大町町)

排水ポンプ車による緊急排水



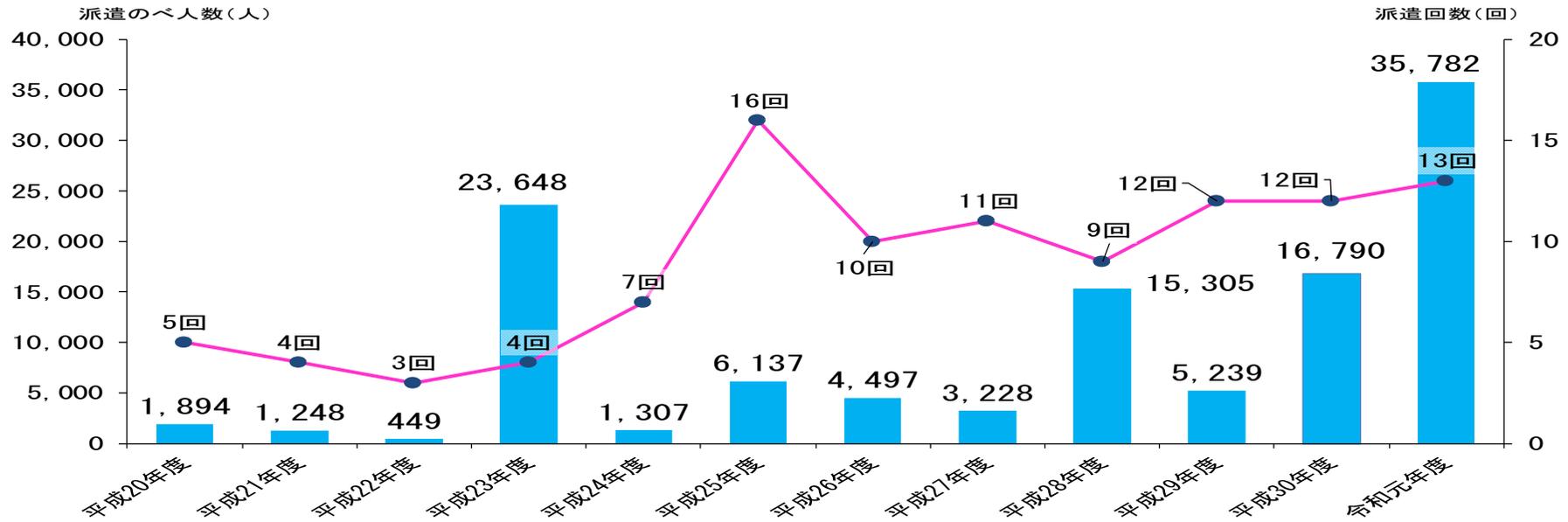
【H30.7月豪雨】
(岡山県倉敷市真備町)

捜索活動への技術的助言



【H28.4 熊本地震】
(熊本県南阿蘇村)

➤ 創設以来106の災害に、**のべ約11万5千人**を越える隊員を派遣



➤ 令和元年度派遣総数 **のべ 35,782人・日**

災害	5月18日鹿児島県屋久島南部の大雨	6月18日山形県沖を震源とする地震	6月下旬からの大雨	梅雨前線に伴う大雨及び台風第5号	熱帯低気圧から変わる台風(第6号)	8月7日浅間山の噴火
派遣隊員の活動員数 (のべ人・日)	41	106	512	62	17	21
災害	台風第10号	8月の前線に伴う大雨	台風第13号	台風第15号	台風第17号	東日本台風
派遣隊員の活動員数 (のべ人・日)	312	1,711	159	1,251	494	30,513
災害	3月13日 石川県能登地方を震源とする地震					
派遣隊員の活動員数 (のべ人・日)	16					

※ リエゾンのみ派遣した災害は上表には含めていない。

令和元年8月の前線に伴う大雨への派遣

- 九州地方整備局をはじめ、四国、中国、近畿、中部、北陸、関東、東北地整等から派遣したTEC-FORCE(8/26~9/20のべ1,711人・日)が、佐賀県と福岡県を中心に5県12市4町の自治体において被災地支援活動を実施
- 被害全容を迅速に把握するため、防災ヘリ「はるかぜ号」、「愛らんど号」、「きんき号」の3機体制で上空調査を実施
- 自治体所管施設の被災状況を調査するため、河川、砂防、道路の被災状況調査班を全国から広域派遣
- 約6,900haの範囲で浸水した六角川水系に、最大50台の排水ポンプ車が全国から集結、孤立した病院や住宅を早期に解消
- 流出した油の拡散を防止するため、オイルフェンスを設置し、建設業者や関係機関と一体となって油除去作業を実施



順天堂病院周辺の浸水状況
(佐賀県大町町)



ドローンによるぼた山公園の
土砂崩れ状況調査
(佐賀県大町町)



流出した油を回収するため
側溝清掃車を現地に派遣
(佐賀県大町町)



大町町、佐賀県、自衛隊、九州地方整備
局合同の現地本部連絡会議
(佐賀県大町町)



崩壊箇所の流量調査
(佐賀県佐賀市)



土砂崩れに対する
自治体への技術的助言
(佐賀県大町町)



孤立した病院や住宅の早期解消に向け
24時間体制で緊急排水を実施
(佐賀県大町町)



協力企業と連携し流出した
油の除去作業を実施
(佐賀県大町町)

令和元年東日本台風への派遣

- 東北、関東、北陸地方整備局をはじめ、全国の地整等から派遣したTEC-FORCE(10/10~12/27 のべ30,513人・日)が、東日本の34都道県303市町村の自治体において被災地支援活動を実施。最大 748人(10/23)の隊員を派遣。派遣規模が過去最大。
- 防災ヘリや、ドローンなどを活用し、自治体所管施設の公共土木施設の被災状況調査を迅速に実施。激甚災害の指定(10月29日閣議決定)にも貢献。
- 台風上陸前から浸水被害に備えて排水ポンプ車を派遣し、災害発生後は速やかに排水活動を開始。最大時には、全国から約200台の排水ポンプ車を派遣、24時間体制で緊急排水し、10月中に浸水を概ね解消。
- 路面清掃車等を派遣し建設企業と一体となり市街地や道路等に堆積した土砂撤去を支援。
- 散水車による断水地域での給水活動や隊員による支援ニーズの把握等、被災地の生活を支援。



防災ヘリによる千曲川上空の浸水調査
(長野県長野市)



道路路肩付近の被災状況調査
(茨城県常陸太田市)



排水ポンプ車による24時間体制の緊急排水
(長野県飯山市)



協力企業と一体となった堆積土砂の撤去
(長野県長野市)



河川の護岸と歩道の流出状況を調査
(千葉県朝倉市)



ドローンにより上空から崩落実態の調査
(神奈川県相模原市)



被災状況調査結果を自治体に報告
(群馬県嬬恋村)



散水車による被災地での給水活動
(宮城県丸森町)